

西暦 2020年5月20日

これまでに腹腔鏡下脾体尾部切除術を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院外科では「良性～低悪性度脾腫瘍に対する腹腔鏡下尾側脾切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討」という多施設共同研究を行っております。脾体尾部切除の際には、脾臓を温存する術式と脾臓を合併切除する術式があり、それぞれ長所・短所があり、どちらが優れた術式かはまだ明らかではありません。この研究は、日本、韓国の肝胆脾外科学会関連の多施設で脾温存術と脾合併切除の成績を比較し、いずれが優れているかを検討することを主な目的としています。

そのため、過去に腹腔鏡下脾体尾部切除術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 西暦 承認後～西暦 2023年3月31日まで

対象調査期間 : 西暦 1993年1月1日～西暦 2018年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに脾体尾部切除術を受けた患者さんのカルテ、CT画像です。

○過去のデータもしくは治療終了後のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することを行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、松山赤十字病院外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 外科 医師

研究責任者：富野 高広

TEL : 089-924-1111(代) FAX : 089-922-6892(代)